

じゃぶじゃぶ（江戸小咄から）

近ごろは生意気な子供が増えておりまして、うかうかしてると、大人でもやり込められてしまいますな。

- 子 おじさん、落語やってるんだって。
- 因 へえ、さようでございますが・・・
- 子 じゃ、小嘶、知ってるかい。
- 因 そりや、小嘶のひとつやふたつ、知っていますけど・・・
- 子 じゃあね、こんなの知ってる？
- 因 へえ、どんなのです？
- 子 昔々、あるところにおじいさんとおばあさんがいたんだ。
- 因 あのね、坊っちゃん。それは小嘶じゃなくて、昔話。おとぎ話っていうんじゃありませんか。
- 子 いいからだまって聞いてなよ、それで、おじいさんは川へ洗濯に行ったんだ。
- 因 へえ、じゃ昔のおとぎ話と逆ですな。おじいさんは川へ洗濯なら、おばあさんは山へ芝刈りですか。
- 子 そうじゃないんだよ。おばあさんもは川へ洗濯に行って、二人でじゃぶじゃぶ、じゃぶじゃぶ洗ってたんだ。
- 因 それでどうしました？
- 子 これでおしまい。
- 因 おしまいってね、坊っちゃん。小嘶ってのは、落ちが肝心なんですよ。その嘶じゃ、落ちが無いじゃありませんか。
- 子 ばかだなあ。落ちないから、洗ってたんだい。